

令和7年度 高崎市立高崎幼稚園教育構想

園のスローガン
子どもを認め、
同僚に学ぶ教師

園のスローガン
明るく全ての人が大切に
される園文化の創造

《教育目標》 心豊かでたくましく、思いやりのある子を育てる
= 目指す子ども像 =

<p>たくさん遊ぶ子</p> <p>ものや人などに自分から関わって遊ぶことができる。</p>	<p>考える子</p> <p>自らの課題に取り組み、自力で解決しようとすることができる。</p>	<p>よさを認め合う子</p> <p>友達と協調し、命を大切に、他人を思いやることができる。</p>	<p>運動が好きな子</p> <p>心身ともに健康で、体を動かして遊ぶことができる。</p>
---	---	---	---

幼稚園・地域の様子

①園児の居住地は、高崎市の全地域に分散している。
②保護者は幼稚園の活動に協力的である。
③周辺地域の人たちはあたたかい目で見守ってくれている。
④北公民館、総合福祉センター、少年科学館などの施設がある。
⑤明治21年創立の幼稚園である。
(昭和61年4月 旧第二幼稚園と統合)

経営方針 園児一人一人の健やかな成長と安全を保障し、保護者や地域に信頼され、社会に開かれた幼稚園を目指す。

- 1 **【幼児本位】** 園児一人一人を尊重し、子どもの目線に立った保育に努める。
- 2 **【安全確保】** 園の安全体制を確立し、安心安全な保育に努める。
- 3 **【情報提供】** 園の情報について保護者と共有し、開かれた園の経営に努める。
- 4 **【地域連携】** 地域や地域諸団体及び関係機関との連携を推進する。
- 5 **【職員研修】** 園内外の研修を通して、職員の指導力の向上に努める。

基本方針

①発達や学びの連続性など幼稚園教育要育を推進する。
②市民の信託を受け幼稚園教育要領と群馬県学校教育の指針、高崎市の幼稚園教育に基づいた生きる力の基礎を培う。
③感動とともに道徳性の芽生えを促す。
④保護者・地域とともに創る幼稚園教育を推進する。

努力点

園内研修	保育活動の充実	家庭と地域・社会	環境	◎重点項目	○継続項目	安全	幼小の連携
<p>◎保育の充実と教師力の向上に資する確かな研修を推進する。 ○ものや人などに自発的に関わることができる子を育成するための環境の構成や援助の工夫を追求する。 ○園児に寄り添った保育の在り方を共通理解する。 ★学び合う教師集団を形成する。</p>	<p>◎協同性の育成を基本に質の高い遊びや体験活動を充実し、生きる力の基礎を養う。 ○園児の特性の多面的な理解と発達の課題などに応じた支援の充実を努める。 ★園児の自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境を整え、一人一人の資質・能力を育み、自己肯定感を高める。</p>	<p>◎保護者との連携を重視する。 ○地域とともに歩む園経営を推進する。 ★保護者との情報交換、HP、通信、園行事等を通して、子育てに関して家庭と連携・協力していく。 ★通級指導教室、こども発達支援センター、関係機関と連携し個に応じた支援を進める。</p>	<p>◎園児の遊びの広がり、深まり、感動のできる環境の構成を工夫する。 ○自然物・事象に感動する環境づくりを進める。 ○道徳性の芽生えを促進する環境を整える。 ★園児の行動や心の動きを環境の構成や援助との関わりで振り返るための保育記録の活用を図る。 ★遊びが充実するための質の高い安全な教育環境をつくり出す。</p>			<p>◎施設の安全については、定期点検を行うとともに複数で確認し管理を徹底する。 ○避難訓練を月1回程度行い、園児に行動の仕方が身に付くよう指導を充実する。 ★感染症や熱中症、食物アレルギー等への組織的な対応で危機を未然に防ぐ。 ★保護者、地域、関係機関と連携する。</p>	<p>◎集団活動を通して自他のよい所を認められる子どもを育てる。 ○幼小の連携の重要性を理解して、小一プロブレムが生じないよう援助する。 ★「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえたカリキュラム連携を小学校と共有する。 ★授業参観や行事への参加等を通じた園児と児童の交流を推進する。</p>